

○●上田女子短期大学 サポート講座(出張講座)のご案内●○

本学では、地域の皆様の生涯・総合学習、教育機関や社会福祉専門職の皆様の研修会のための知的資源の提供・発信を通して地域との連携に取り組んでいます。教員の専門を活かした53種類の多彩な講座がございます。受講をご希望の際は、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

■問合せ先■ 上田女子短期大学 地域連携センター 〒386-1214 長野県上田市下之郷乙 620
TEL : 0268-39-7061(直通) FAX : 0268-39-7062(直通) E-mail : chiiki@uedawjc.ac.jp

対象： 全 どなたでも 一般(成人・大学生など) 小 中 高 小中高校生(受講料無料) 専 専門職

文学・言語・歴史

あなたの知らない長野県方言 /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (一般 高)

へら、とぶ、まえで…私たちは共通語を話していると思っている皆さん、県民には県民の「方言」があるのです。

日本語の特質 /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (一般 高)

いろいろな言語と比べながら、日本語の特質を明らかにしていきます。(90分×1~2回。)

身近な方言グッズ収集のすすめ /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (一般 高)

方言は本来話しコトバですが、現在は、書いて、読んで、楽しむようにもなりました。拙著『魅せる方言』(三省堂2014)で、ご紹介した事例をもとに、身近な方言グッズ収集の楽しみについてお話しします。

辞書のはなし /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (一般 高)

国語辞書の編纂方法を中心に、辞書にまつわるよもやま話をお楽しみください。

信州洋学者群像 /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (一般 高)

佐久間象山・村上英俊・赤松小三郎など、近世に活躍した洋学者たちの業績について、日本語史の点からアプローチします。

子どもとことば /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (高)

「こどもの詩」を鑑賞しながら、言葉の発達について考えます。あわせて、本学主催の「うえだ七夕文学賞」の応募についても解説します。

日本語のトリビア /総合文化学科長 教授 大橋 敦夫 (全)

「々」のなまえは? 「・」を何と読む? 「㊦」の読みかたは? 犬の名前は、なぜ「ポチ」が多いの? 毎日の日本語表現のなかで、気になる謎に迫ります。(60分×1回)

児童文学の世界 /総合文化学科 教授 長田 真紀 (一般 小 中 高)

日本の児童文学の作家・作品を取り上げ講読します。子どもから大人まで楽しめるその豊かな文学世界と一緒に味わいましょう。(取り上げる作家・作品、回数や時間はご希望に応じます。小学生、中学生だけの講座も実施可能です。)

近代文学の世界 /総合文化学科 教授 長田 真紀 (一般 小 中 高)

日本の近代文学の作家・作品を取り上げ、講読します。その豊かな文学世界と一緒に楽しみましょう。(取り上げる作家・作品、回数や時間はご希望に応じます。小学生、中学生だけの講座も実施可能です。)

📁 キャリア教育

ホスピタリティマナー講座（一般向け）／総合文化学科 教授 増田 榮美（**般**）

ホスピタリティマナーの考え方や接遇マナーの基本、ホスピタリティの提供方法を学びます。

ホスピタリティとは何かを理解し、ホスピタリティマインドあふれる対応を実践するためのマナーを身につけましょう。（開講時期は要相談）

ホスピタリティマナー講座（高校生向け）／総合文化学科 教授 増田 榮美（**高**）

ホスピタリティマインドを発揮し、社会で活躍する人材となるため、ホスピタリティマナーの考え方や接遇マナーの基本、ホスピタリティの提供方法を学びます。主に、接遇マナーの5大要素である、表情・態度・挨拶・身だしなみ・言葉づかいについて学びますので、将来に役立ちます。（開講時期は要相談）

新入(若手)社員のためのビジネスマナー／総合文化学科 教授 増田 榮美（**般 高**）

社会人になると、挨拶や身だしなみ、言葉使い、電話対応など、場面に応じて適切なルールを理解し、使い分けることが必要です。ビジネスマナーの基本を知っておくことで、コミュニケーションだけでなく、ビジネスそのものをスムーズにすることができます。（開講時期は要相談）

感じの良い日本語のマナー～電話・手紙編～／総合文化学科長 教授 大橋 敦夫（**高**）

社会人デビューに備え、電話対応、手紙の書き方の基本を身につけましょう。（60分×1～2回）

📁 健康・心理

自分の健康状態を知ろう／幼児教育学科 准教授 堤 裕美（**全**）

体力テストや装置を使用して体力を数値化することもできますが、自分の体の状態（コンディション）を自分自身で自覚できるかどうかはとても大切なことです。体が動く仕組みを知り、生活動作の中で意識してみることで、自分の身体との向き合い方も変わるかもしれません。（60～90分×1回）

あそぼうあそぼうおかあさん（おとうさん）／幼児教育学科 准教授 堤 裕美（**全**）

家庭でもなく、保育園や幼稚園とも違う環境下に集った様々な年齢の子どもたち、又は親子でふれあい遊びを通して体と心をほぐし、ほっと心温まるひとときを過ごそう！（60～90分×1回）

高校生のためのアンガーマネジメント（お試し版）／総合文化学科 専任講師 遠田将大（**高**）

高校生は、友人関係や親子関係、進路、学業など様々な悩みを抱え、ストレスがたまりやすい時期といわれています。この講座では、イライラしたり不安になったりする自分と上手に付き合うための方法について、体験を通して学んでいきます。（45分×1回）

コロナ禍を経た今、親子の絆を深めませんか？／総合文化学科 専任講師 遠田将大（**般**）

コロナによる規制が緩和されつつある今、親子の絆を深めてみませんか。ここでは、親子や家族のコミュニケーションを活性化するための心理学的手法をいくつかご紹介します。子どもが悩みを持った時の話の聞き方や言いたいことが子どもに伝わりやすい伝え方などです。参加者の皆さんで、一緒に感想を言いつつ、体験してみませんか？（90分×1回、開催時期：7, 8月頃）

中高生のための心理学講座／総合文化学科 専任講師 遠田将大（**中 高**）

中・高生は、友人関係や親子関係、進路、学業など様々な悩みを抱え、ストレスがたまりやすい時期といわれています。ここでは、大学で学ぶ心理学の授業を紹介します。具体的には、心理学のアンケートを使った自己分析です。自分がどんな性格なのかが分かると、自分をコントロールしやすくなります。心理学に興味がある方はぜひ。（60分×1回）

思春期からのセルフマネジメント／幼児教育学科 准教授 大塚 美奈子（**般 高 専**）

小学校高学年から中学・高校にかけて、心身の不調を訴えたり、精神的に不安定になったりする子どもが増えています。体調や心の安定を保つ、マイナスと感じる出来事を受け流し、次につなげる方法を演習で学びます。（90分×1回）

図書館サービスと著作権 / 総合文化学科 専任講師 **井上 奈智** (専)

本講座では、公共図書館または学校図書館の司書向けに、著作権の基礎知識を得ることを目的とします。次の内容にカスタマイズが可能です。・著作権の基礎知識・肖像権の基礎知識・著作権法改正のポイント・実務上の悩み相談・図書館における著作権教育(90分×1回、開催時期：8月以降)

☺ 保育・教育・福祉

絵本や物語の読み聞かせの重要性 / 総合文化学科 教授 **長田 真紀** (般 高)

幼児教育における絵本や物語の読み聞かせの重要性を実践的に学びます。(講座回数・時間 応相談。)

子どもの遊びの世界を探求する / 幼児教育学科 教授 **酒井 真由子** (般 高 専)

幼児教育において遊びが重要だといわれる社会的背景について概観した後、実際の遊ぶ子どもの姿や絵本・映画に描かれている遊ぶ子どもの姿から、子どもの遊びの世界の豊かさについての理解を深めます。一緒に子どもの遊びの世界を探求しましょう。(90分×2回。)

子どもと自然保育 / 幼児教育学科 教授 **酒井 真由子** (全)

全国的に注目されている自然保育。ではなぜ、子どもの育ちにとって自然保育はよいのでしょうか？本講座では、自然保育の事例や最新の研究内容・結果を紹介します。自然を見つめたり、皆で話をしたりするなかで、自然保育について考え合ひましょう。(90分×2回、応相談)

絵本の仕組みと特徴 / 幼児教育学科 教授 **酒井 真由子** (全)

子どもたちに親しまれている絵本を用いながら、絵本の仕組みや特徴を紹介します。あらためて絵本の魅力と面白さについて学び合ひましょう。(90分×1~2回。)

集団遊びの面白さを味わおう! / 幼児教育学科 准教授 **堤 裕美** (小 中)

集団遊びの継承が難しくなっています。これまで、集団での遊びはその時代ごと、また地域の子どもの発想や知恵によって様々な形を変えて受継がれてきました。これまでの遊びをただやるのではなく、今の子どもたちの英知とパワーを結集し、自分たちの遊びにしていく過程を楽しみましょう。(60~90分×1回。)

中・高校生のための保育学講座 / 幼児教育学科 准教授 **千葉 直紀** (中 高)

幼少期の子どもの育ちがその後の成長に大きく影響してきます。保育学を学ぶ中で子どもの面白さや子どもの育ちを支える教育の重要性について学びます。

パパ・ママが子どもと共に育ち合うための保育学講座 / 幼児教育学科 准教授 **千葉 直紀** (般)

子育ての喜びや大変さを参加者で共有しながら、子どもが育つために必要なことは何かを学びます。社会の変化が目まぐるしい現代だからこそ大切にしたい子育てのあり方を考えてみませんか。

おじいちゃん・おばあちゃんのための孫育て講座 / 幼児教育学科 准教授 **千葉 直紀** (般)

今と昔の子育ては違う?!孫の面倒の見方が分からない…。日頃の悩みを共有し、子育て、孫育てに必要なことは何かを学び合ひましょう。

保育がどんどん面白くなる保育者のための保育学講座 / 幼児教育学科 准教授 **千葉 直紀** (専)

日頃の保育に悩んでいませんか?“保育って面白い”“子どもってやっぱりかわいい”心からそう思って保育をすることが質の向上の根っこなのではないのでしょうか。明日の保育が面白くなるために皆さんで学び合ひましょう。

子どもを知れば納得、『なるほど子育てヒント集』 / 幼児教育学科 専任講師 **関 裕子** (般)

子どもの言動には必ず理由があります。子どもの行為を言葉として考えるなど、さまざまな視点から、関わりの工夫を一緒に考えましょう！(託児あり、45分×1回、開催時期：8月頃)

園内研修で保育の質向上にトライ! / 幼児教育学科 専任講師 **関 裕子** (専)

限られた時間の中で効果的な園内研修をサポートします。専門性を基盤とした問いから、仲間との対話を通して、思考をバージョンアップさせていきましょう!「障がい児保育」など、内容によっては異なる専門の教員とペアで対応します。(オンライン可、30分~60分×1または2回)

<p>マタニティ講座「もうすぐ、会えるね」／幼児教育学科 専任講師 関 裕子 (般)</p> <p>赤ちゃんが生まれてから、育児は待ったなし。赤ちゃん、大人、それぞれの立場から、育児の安心ポイントをギュッと絞ってお伝えします。先輩ママ・パパのメッセージも聞けますよ。(90分×1回)</p>
<p>やってみよう手遊び・歌遊び♪／幼児教育学科 専任講師 今井 香織 (小 中 高)</p> <p>保育現場で用いられる手遊びや歌遊びとはどんなものだろう?どんな目的があるのかな? 子どもたちも大好きな手遊びや歌遊びを、実際に体験し楽しみながら学びましょう。(回数や時間は応相談)</p>
<p>乳幼児が感じ取る“音”の世界／幼児教育学科 専任講師 今井 香織 (般 高 専)</p> <p>身の回りに存在する“音”に意識を向けながら、乳幼児が感じ取る“音”の世界について考えます。 音を用いた表現やこどもの表現の可能性について考えてみませんか。(90分×1回)</p>
<p>子どものからだの育ち／幼児教育学科 准教授 堤 裕美 (全)</p> <p>子どもたちは、動くことが大好きで、できることをどんどん増やして、心も体も育っていきます。 保育園や幼稚園、地域の活動での子どもの遊ぶ姿や様子を紹介したり、共有したりしながら周りの大人の働きかけや身の回りの環境について一緒に考えてみたいと思います(90分×1~2回)</p>
<p>日本の教育、何が変わる?何が変わった?／幼児教育学科 専任講師 関 裕子(般 高 専)</p> <p>先行き不透明なこの時代、日本の教育界でも明治維新以来の改革がスタートしています。学びが変われば社会も変わる!ユニークな学びの情報を基に、今、自分にできることを考えてみませんか。(90分×1回。)</p>
<p>学校サポート／幼児教育学科 准教授 大塚 美奈子 (専)</p> <p>不登校、学習不振、いじめ等の行動面の課題やUDと個別支援等の学力に関わる課題に困り感のある学校現場。事例を通して一緒に解決の方向を探ります。(90分×1回)</p>
<p>育てるひと、育つひとのための心理学／幼児教育学科 准教授 多田 幸子 (般 高)</p> <p>発達研究、発達臨床の中で生まれた、育ちの支援において重要な考え方、ものの見方を紹介します。 また現代を生きるわたしたちがそれらの考え方、ものの見方から学びとれることを一緒に見ていきましょう。(開催時期:7月以降)</p>
<p>小鳥をとおして学ぶ?わたしたちの成長、発達／幼児教育学科 准教授 多田 幸子(般 高)</p> <p>わたしたちに身近なカワイイ(だけじゃない)小鳥。彼らの育ちと親子関係、仲間関係の特徴を知り、異なる種へのまなざしをきっかけに、わたしたち人間自身の育ちとその支援について考えてみたいと思います。 (開催時期:7月以降)</p>
<p>気になる子どもの理解と支援／幼児教育学科 准教授 大塚 美奈子 (般 専)</p> <p>保育所・幼稚園・認定こども園、小・中学校、高校まで、発達障がい理解や支援が進んできています。 個々の発達段階や状態に応じた具体的な支援方法や、関係機関と連携し、将来を見据えた支援の方向について学びます。(一般:90分×1回、専門職:90分×2回)</p>
<p>楽しく、動いて学ぼう!ムーブメント教育(講義・実技)／幼児教育学科 准教授 大塚 美奈子 (般 小 中 専)</p> <p>障がいのある子どもや幼児・児童の発達を促す運動プログラムを実際の遊具や動きを通して学びます。教員や保育関係者向けでは、MEPAによるアセスメント方法も学びます。 (一般:80分×1回、専門職:90分×2回)</p>
<p>障害の理解と支援の方法／幼児教育学科 教授 川島 良雄 (般 高 専)</p> <p>障害、近年は特に発達障害を持ったお子さんの対応に苦慮されている状況が続いています。障害(発達障害)とその特性を理解し、適切な支援方法について考えていきたいと思います。(120分×1~2回、応相談)</p>
<p>児童虐待の現状理解と支援方法／幼児教育学科 教授 川島 良雄 (般 高 専)</p> <p>児童虐待の相談件数は、増加の一途をたどっています。児童虐待の現状を正しく理解し、支援の方法について考えていきます。(120分×1~2回、応相談)</p>
<p>対人援助の基礎／幼児教育学科 教授 市東 賢二 (般 専)</p> <p>社会福祉現場で必要な対人援助技術を基礎から見直します。対人援助技術としての傾聴の意味や、相手を見ることの意味を、演習を交えて学びます。(90分×2~3回)</p>

スーパービジョン講座 / 幼児教育学科 教授 **市東 賢二** (**専**)

スーパービジョンの基礎的な考え方から、スーパーバイザーとしての役割や身につける態度など、スーパービジョンに必要な知識や技能を学ぶ講座です。(90分×3~5回。1回講座は応相談)

幼保小接続にむけて(異校種連携のすすめ) / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**般** **専**)

講座担当者は、小中高特の教諭として6歳から18歳まで500人近くの児童生徒の皆さんの担任をしてきました。その中では、継続的な支援の必要性とともに異年齢の園・学校の先生方や保護者の皆さんが連携することの大切さも痛感してきています。そうした経験をもとに園および異校種間連携に向けた実践ができればと考えています。

 **表現**

「よくわからない」からの抽象画講座 / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**般** **中** **高** **専**)

「絵はわからない」、そんな思いをお持ちの方も多いかと思います。その思いからスタートして自分なりの表現を探す抽象画講座です。(120分×1回。描画材費用として1人700円必要です。)

はじめての「イタリア美術紀行」 / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**般** **中** **高**)

ミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチ等イタリアはルネッサンス美術の宝庫です。

その魅力についてイタリアを旅するように豊富なスライドとともに迫りましょう。(90分×1回。)

子どもの絵の見方 / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**般** **専**)

「上手に描けたね」、何の気なしに使う褒め言葉が実は将来の「美術嫌い」を生んでいる?!

どうしたらその子らしい絵が生まれるのか…子どもの絵の見方を軸に子どもへの支援方法について一緒に考えましょう。(90分×1回。)

美術造形教育における地域連携の方法 / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**専**)

地域連携教育の必要性が高まっています。美術造形教育における連携の方法について様々な具体例をもとに学び、実践力をつけていきます。(90分×1回 他。相談の上、決定いたします。)

美術造形教育、なんでも相談 / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**般** **中** **高** **専**)

「美術教育コーディネーター」としての経験をもとに、美術造形教育に関する相談、それぞれの分野の専門家へのコーディネートを行います。困ったことをご相談ください。(時間、回数は要相談)

灯キャラバンプロジェクト / 幼児教育学科 准教授 **吉澤 俊** (**全**)

本プロジェクトは、テラコッタ粘土で制作・焼成したキャンドルホルダーを各地の学校・園・施設等で制作していただき、集まった600個の灯に「願い」をのせて届けるというプロジェクトです。キャンドルホルダーの制作に参加していただける園・学校・施設を募集します。人数は10人から400人まで対応可能です。

(開催時期：展示期間に合わせて)

想いを表現してみよう / 総合文化学科 専任講師 **岡村 綾華** (**全**)

「表現する」とは生きるものの根源的な営みです。しかし、日々の暮らしの中でどれだけ自分の素直な「想い」を表現して生活しているのでしょうか?ここでは、正解のない「表現する」という体験を共に行います。

(90分程度×1回、開催時期：夏頃)